

# 坂ノ市地域まちづくりビジョン 概要

## 1. 地域まちづくりビジョンとは (本編 P3)

わが国では、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、大分市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域の活力維持や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題解決のためには、行政が地域の実情や意向等を的確に把握し、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的に、市内13地域において、各地域の代表者で構成する「地域ビジョン会議」を設置し、それぞれの地域の現状と課題などを議論し、地域のまちづくりを進めるうえでの将来像として「地域まちづくりビジョン」を策定しました。

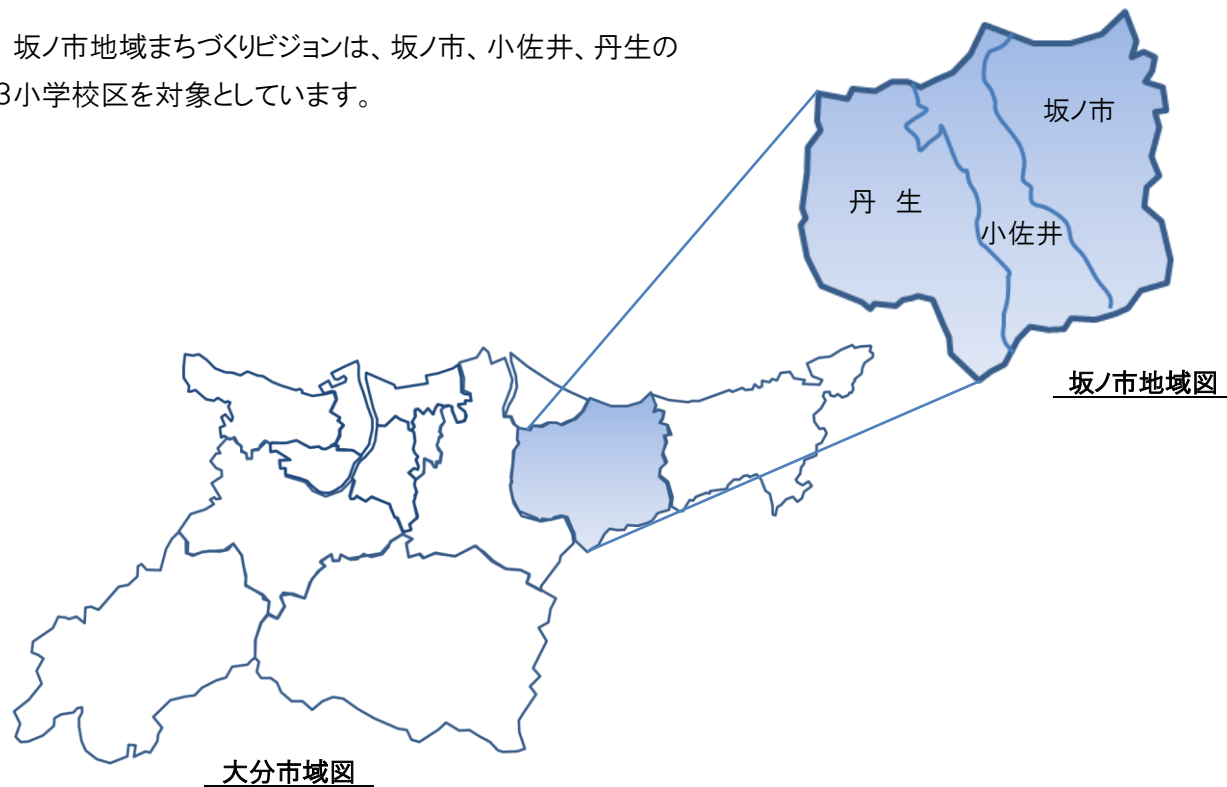
本ビジョンでは、坂ノ市地域ビジョン会議で取りまとめた「坂ノ市地域まちづくりビジョン」について、大分市長に提言します。

### 市内13地域における地域ビジョン会議

大分中央地域	大分東部地域	大分西部地域
大分南部地域	南大分地域	鶴崎地域
大南地域	植田地域	大在地域
<b>坂ノ市地域</b>	佐賀関地域	野津原地域
明野地域		

## 2. 坂ノ市地域の対象校区

坂ノ市地域まちづくりビジョンは、坂ノ市、小佐井、丹生の3小学校区を対象としています。



## 3. 坂ノ市地域まちづくりビジョンの概要

<p><b>第1章 地域の特性</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地理的特性</li> <li>2 地域の歩み、文化的特性</li> </ol> <p><b>第2章 地域の現状、市の施策</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 土地利用の状況</li> <li>2 地域資源</li> <li>3 地域内の公共施設</li> <li>4 避難所、津波避難ビル、避難場所</li> <li>5 市民との協働によるまちづくり</li> </ol> <p><b>第3章 人口推移と将来推計</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 大分市の人口推移と将来推計</li> <li>2 坂ノ市地域の人口推移と将来推計</li> <li>3 大分市の人口ビジョン</li> </ol>	<p><b>第4章 地域の分析</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 SWOT分析による地域の分析</li> <li>2 坂ノ市地域の整理図</li> <li>3 地域の将来に向けた課題の設定</li> </ol> <p><b>第5章 地域の将来目指すべき姿(将来像)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の将来に向けて</li> <li>2 地域の将来像</li> </ol> <p><b>第6章 将来像の実現に向けた取組</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 これからのまちづくりに向けた市長への提言</li> <li>2 将来像の実現のために必要な取組</li> <li>3 まちづくりの将来像図</li> </ol>
---	---

地域ビジョン会議の中では、坂ノ市地域の将来に向けた魅力・課題の整理を行い、地域のさらなる発展のために、地域のあるべき姿(将来像)を設定し、その実現に向けた事業の提案や役割分担を行いました。

### 3-1. 地域の将来に向けた魅力・課題 (本編 P20)

#### 坂ノ市地域の魅力

1. 人口増が見込まれる
2. 住みやすいまち
3. 都市基盤整備の充実

#### 坂ノ市地域の課題

1. 各種自然災害に対する不安
2. 社会資本の不足
3. 大手企業の活用

### 3-2. 坂ノ市地域の将来像(まちづくりのコンセプト) (本編 P23)

**住んでよし 来てもよし  
自慢だらけの坂ノ市**

#### 将来像への思い

これからの「まちづくり」を進めるうえで、坂ノ市地域が取り組むべき事業を多方面にわたり検討してきました。教育・文化・福祉分野においては特に、きめ細やかで具体的な事業が提案されました。いずれの事業にも共通していた提案者の思いは、坂ノ市地域への深い愛着でした。この郷土への深い愛着を表現したいという思いが込められています。

# 坂ノ市地域まちづくりビジョン 概要

## 3-3. これからのまちづくりに向けた市長への提言 (本編 P24)

今後、わたしたち市民が描く地域の将来像の実現に向けて、これからのまちづくりに重要となる取組について提言します。

<b>提言1 人がつながるコミュニティの創造</b>			
坂ノ市地域は、住民同士の関係が密で、萬弘寺の市など様々な行事を通じた住民交流、子どもや高齢者の見守り体制が構築されています。			
このような体制を維持していくためには、次世代を担う若者を交えた地域交流を促進し、コミュニティを活性化させる取組が必要です。			
<b>提言2 安全・安心なまちづくり</b>			
地震や津波、古いため池など、様々な自然の脅威に対応するための基盤整備はもとより、未来を担う子どもたちや高齢者の安全を確保するため、道路整備や施設整備の促進、支援を望みます。			
<b>提言3 地域資源の活用</b>			
本地域は、豊かな自然に囲まれ、丹生温泉や佐野植物公園、亀塚古墳などの観光資源や、市外の方も楽しめる地域伝統行事などが多くあります。			
これら地域資源をより有効に活用するための取組が必要です。			

## 3-4. 提言に基づく提案事業(役割分担を含む)の一覧 (本編 P25)

将来像の実現に向けて、前段で3つの項目について提言しました。また、その提言に基づく具体的な提案事業(役割分担を含む)についても検討を行い、下記のとおりまとめました。

No. 1	人がつながるコミュニティの創造		
事業名	3世代が交流できる事業		
内容	丹生地区では地域づくりの行事が盛んだが、高齢者が中心で進めているので、若者や子どもにもっと地域に積極的に関わってもらいたい。		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業参加へ呼び掛け</li> <li>事業における体験活動(物作り等)での講師、指導、補助</li> <li>事業等への積極参加</li> <li>班会議で地域に呼びかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三世代交流事業の立案、計画、実施</li> <li>人材の確保</li> <li>活動資金の補助</li> <li>活動場所の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動場所、施設の常設</li> <li>資金の補助</li> <li>人材の派遣</li> </ul>

No. 2	人がつながるコミュニティの創造		
事業名	公園(広場)をつくりたい		
内容	廃止したため池用の土地(2,100坪)があるので、スポーツができる広場として活用したい。		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議に参加</li> <li>情報の提供</li> <li>運営参加</li> <li>地域住民へのPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会会議、情報共有、広報活動</li> <li>プロジェクトチーム編成</li> <li>地域住民の協力、支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の補助や支援、広報</li> </ul>

No. 3	人がつながるコミュニティの創造		
事業名	住民と市議会、行政とのコミュニケーションの場づくり		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の要望が行政にうまく伝わっていない。</li> <li>住民と市議会、行政が定期的にコミュニケーションをとる場を作り、予算面などを含めお互いに納得できるよう話し合いを行う。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加する</li> <li>若者(学生)に参加をうながす</li> <li>若者(学生)に地域参加の重要性を教える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加する・広報</li> <li>当事者意識をもつ(行政任せにしない)</li> <li>運営人材確保</li> <li>企画立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所の提供</li> <li>プログラムづくり</li> <li>議会や各部署間の情報共有</li> </ul>

No. 4	人がつながるコミュニティの創造		
事業名	萬弘寺広場で朝市等の開催(地域の野菜販売等)		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>萬弘寺の広場が活用されていない(1年で1週間だけ)</li> <li>定期的に朝市などを開催することで、住民の交流や、地域の活性化につながる。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントに参加</li> <li>イベントPR(個人発信、SNS等)</li> <li>運営に参加</li> <li>学校にて行事を発信</li> <li>情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトチームの編成</li> <li>企画立案</li> <li>広報</li> <li>運営人材確保</li> <li>参加者確保</li> <li>アンケート調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの共催</li> <li>広報</li> <li>補助、支援</li> <li>アンケート調査</li> </ul>

# 坂ノ市地域まちづくりビジョン 概要

No.5	人がつながるコミュニティの創造		
事業名	子どもの生きる力を養う事業(キャンプ、宿泊合宿など)		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の公民館などで泊まり込み合宿を行い、集団での生活や学習の機会をつくる。</li> <li>しつけ(他人から)の場が必要。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動に積極的に参加(家族全員)(自治会活動) 防災訓練、運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの企画立案(お年寄り～若い世代が参加できる)</li> <li>プロジェクトチーム編成</li> <li>運営人材確保(多様な世代)、開催場所提供、広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育関係機関との調整、補助、支援、広報</li> </ul>

No.6	人がつながるコミュニティの創造		
事業名	子どもへの福祉事業		
内容	夜一人で家にいないといけな子どもなどを預けられる場所や、子ども食堂のようなものが必要。		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に参加したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所の確保</li> <li>学校と地域の連携(子どもの為)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織(市からのお墨付き)</li> <li>備品(ユニホームなど)</li> <li>活動費用</li> </ul>

No.7	安全・安心なまちづくり		
事業名	子どもや高齢者の安全を確保する道路や交通網の整備促進 ・通学路の整備、改善 ・自転車道整備事業 ・公共交通網の充実		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>小佐井小学校周辺の道路は朝夕交通量が多く歩道も狭いため、通学中の子どもが危険</li> <li>道路の拡幅は難しい</li> <li>国道197号バイパスを早くつなげる</li> <li>高齢者が安心して自転車に乗れる道路が必要</li> <li>ふれあい交通等の交通網の充実</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の整備、改善</li> <li>朝の通学時の状況をビデオ撮影</li> <li>安全確保のためのパトロール、見守り活動</li> <li>公共交通を積極的に利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実態を広報、周知</li> <li>要望内容の明確化</li> <li>安全確保のためのパトロール、見守り活動</li> <li>公共交通利用希望者の募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地視察(通学ラッシュ時)</li> <li>県へ改善要望、予算化</li> <li>交通事業者との連携</li> </ul>

No.8	安全・安心なまちづくり		
事業名	小佐井小学校及び周辺整備事業		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>小佐井小学校は老朽化していて危険。</li> <li>周辺の通学路も整備の必要がある。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政への働き掛け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域やPTAの連携により各方面への働き掛け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全、安心な使いやすい施設の整備</li> </ul>

No.9	地域資源の活用		
事業名	坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施		
内容	各校区の歴史を調査し、意見交換したり、地域の史跡を歩いて回るイベントを実施したりする。⇒健康づくりにもつながる。		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者、運営委員を広く募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継承者の育成</li> </ul>

No.10	地域資源の活用		
事業名	坂ノ市の個店を住民に知ってもらうマップを作り、地元消費の喚起につなげる		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画整理事業終了後、地域に商店街が無くなった。</li> <li>坂ノ市広域の商店街マップをつくり(商工青年部のお店や会社を掲載)、住民がどこに何があるか把握できるようにする。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼びかけ</li> <li>青壮年団(60歳以下)もあっていい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工青年部活動でマップを作成</li> <li>商議所加盟店にマップを設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マップの設置先(支所、駅前ロータリー、銀行、信用金庫など)の検討</li> </ul>

# 坂ノ市地域まちづくりビジョン 概要

No.11	人がつながるコミュニティの創造、地域資源の活用		
事業名	地域の拠り所となる丹生温泉の活用促進 ・丹生温泉を核とした高齢者と若者が集う広場、館を造る ・大分市「いこいの家」を造る		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹生温泉に3世代が交流できる施設や広場を整備する。</li> <li>・アスリートを養成するアスリートセンターの建設。</li> <li>・丹生温泉を活用して大分市民の「いこいの家」を造る。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人集め</li> <li>・年2回イベント開催</li> <li>・県、市への働きかけ</li> <li>・広報活動</li> <li>・地域の皆さんに計画を説明し、市民全体にとって素晴らしい施設であることをアピールする。そのことにより、行政に対しての機運を高めていけるのではないかと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場の清掃活動</li> <li>・三世代交流事業</li> <li>・運営の為に人材確保</li> <li>・丹生地区内9自治会が協力しあって全面的に常に協力する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市、県連携</li> <li>・運営の為に財源確保</li> <li>・シルバー特区への認定</li> <li>・伝統行事に限らずまちづくり事業に地域在住の行政出身者(市、県、国)の参加</li> <li>・温泉の区域は県有地であり、市に移管をして頂いた上で、市の事業として取り組んで欲しい</li> </ul>

No.12	人がつながるコミュニティの創造、安全・安心なまちづくり、地域資源の活用		
事業名	地域交流のできる総合的な施設の充実 ・坂ノ市地域のコミュニティが1つになって交流できる総合的な施設の充実 ・企業と連携してコミュニティセンターを設置する ・坂ノ市公民館の改修		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館は公民館、こどもルームは市民センターなどと施設が分散しており、総合的な施設が充実していない。小さくても全てのことが1か所のできる施設があれば地域の自慢にもなる。</li> <li>・地域の企業に福利厚生施設(プール等)の開放をお願いする。</li> <li>・公民館が老朽化しており、安全面で不安。</li> <li>・コミュニティセンターや児童館などの役割をもたせられるように改修する。</li> </ul>		
役割分担	私ができること	地域でできること	行政に望むこと
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握(今ある施設などで行われている事)</li> <li>・同世代や世代を超えた知人等への声かけや意見収集</li> <li>・地域住民の生の声をたくさん集める</li> <li>・企業への働き掛け</li> <li>・行政への働き掛け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な要望(どのような施設が欲しいか)などの収集</li> <li>・事業のための準備団体、協議会の設置、そのための協力依頼等</li> <li>・イベントに家族で参加</li> <li>・話し合いの場をもつ(どのようなふれあい、楽しみの場が必要か、プランづくり)</li> <li>・利用者への働き掛けによる利用率の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態の調査と具体的な場所のいくつかの提案</li> <li>・国、県への要請、予算化、実施など</li> <li>・交流の場として行政に、福利厚生活動の場として(企業)に要望</li> <li>・安全、安心な使いやすい施設の整備</li> </ul>

3-5. 提案事業の整理図(地図) (本編 P31)

